

# 第 17 期 報 告 書

平成 26 年 1 月 1 日から

平成 26 年 12 月 31 日まで

事 業 報 告

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

日本エイ・ティー・エム株式会社

# 事業報告

〔平成26年1月1日から平成26年12月31日まで〕

## I. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当事業年度の経済状況としては、4月の消費増税後の個人消費落ち込みからの回復にもたつきが見受けられましたが、円安・株高・原油安の進展等により企業の収益環境も一部改善し、緩やかながら景気回復局面に至りました。また、当社のメインマーケットである金融業界においては、資金利ざやの縮小や人口減少・高齢化という大局的な流れの中で、経営統合を決断された銀行様もあり、今後の大きな再編の予兆を感じた年でした。

当社グループとしては、ATM共同運用業務を担う日本ATMビジネスサービス株式会社（以下「ABS」という）が本格稼働し、新たに設けた東西2つの管理センターにて、大手銀行様向けの監視業務を開始しました。また、新ATM監視システム「GAIA」が稼働し、今後の更なる監視業務の共同化・効率化に向けての準備が整いました。経営としても、これまでの単体主体の経営から、グループ経営をより意識した体制へと移行し、グループ経営理念・グループビジョンの制定、グループ事業体制の再整備、グループホームページの開設等、ATMJグループとしての経営体制づくりに努め、当期は1999年の創業以来、最も大きな変革を果たした1年となりました。これらの変化を当社グループでは「第二の創業（The 2nd Stage）」と位置づけております。

#### 【グループ経営理念】

人とICTと発想で、  
安心と快適と驚きの生活インフラを  
地域と世界の人々に提供します。

#### 【グループビジョン】

ATMJグループは、社員一人ひとりの成長により、  
2020年までに以下を実現します。

- ・ 金融・行政サービスのインフラ提供会社としての責任をまっとうします。
- ・ 金融・行政サービスの永続的なユニバーサルサービス体制を確立します。
- ・ アジアATMマーケットにおいて、No.1アウトソーサーとなります。

「グループ経営理念、グループビジョン」は、ATMJグループの全社員が、ATMという金融インフラの一翼を担っているという自覚と責任感を持つとともに、ATMにとどまらず、人々の生活に必要な様々なインフラサービスを提供していくことの決意を表しております。

また、「グループ経営理念、グループビジョン」の実現に向け、当期を初年度とする以下4つを目標とする中期経営計画を策定いたしました。

- (1) ATM 監視・運用アウトソーシング（以下「OS」という）における圧倒的ステイタスの確立
- (2) ポスト ATM ソリューションの創造
- (3) グローバルビジネスへの本格参入
- (4) 働きがいのある職場環境づくり

ATM 監視・運用 OS 業務においては、ABS による大手銀行様の監視業務開始に加え、九州地区および東北地区の大手地方銀行様での来期からの監視業務を受託いたしました。また、ABS において ATM 運用 OS サービスを 3 銀行様より受託いたしました。ポスト ATM ソリューションについては、2 つの新しいサービスを来期からサービスインすべく準備を進めております。グローバルビジネスに関しても、海外の有力パートナーとの協業体制の構築、ビジネスの具現化に向けて、引き続き活動を行っております。働きがいのある職場環境づくりとしては、抜擢人事・権限委譲を進めるとともに、意欲的な人材がより働きがいを持てるような人事制度改革に取り組んでおります。

以上の施策の結果、当期の単体業績は、売上高 28,125 百万円（前期<28,381 百万円>比 0.9%減）、売上総利益 3,010 百万円（前期<3,146 百万円>比 4.3%減）、経常利益 320 百万円（前期<654 百万円>比 51.0%減）、当期純利益 113 百万円（前期<132 百万円>比 14.3%減）となりました。

なお、ATMJ グループ全体では売上 36,879 百万円（前期<34,311 百万円>比 7.4%増）、当期純利益 168 百万円（前期<85 百万円>比 97.6%増）（簡易連結ベース）となりました。

## 貸借対照表

(平成26年12月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
【流動資産】	【 8,652,265 】	【流動負債】	【 6,367,823 】
現金及び預金	4,322,095	買掛金	831,310
売掛金	1,870,442	一年以内返済長期借入金	57,200
未収入金	208,166	一年以内償還社債	60,000
商品	1,047,717	リース債務	318,873
仕掛品	302,849	未払金	2,512,660
貯蔵品	134,732	未払費用	151,882
前払費用	36,850	未払法人税等	153,640
立替金	442,147	未払事業所税	17,806
繰延税金資産	120,951	未払消費税等	292,613
【固定資産】	【 8,145,987 】	前受金	1,553,547
(有形固定資産)	( 2,051,919 )	預り金	121,699
建物及び附属設備	562,977	役員賞与引当金	12,000
車両運搬具	0	無償補修費引当金	284,589
工具器具備品	928,001	【固定負債】	【 6,015,660 】
リース資産	441,057	社債	2,810,000
建設仮勘定	119,883	長期借入金	656,800
(無形固定資産)	( 4,145,206 )	リース債務	2,198,454
ソフトウェア	1,705,347	役員退職慰労引当金	123,699
リース資産	1,878,163	退職給付引当金	64,863
ソフトウェア仮勘定	521,239	預り保証金	161,842
その他	40,456	<b>負債合計</b>	<b>12,383,483</b>
(投資その他の資産)	( 1,948,860 )	<b>純資産の部</b>	
投資有価証券	570,332	【株主資本】	【 4,112,463 】
関係会社株式	255,496	資本金	480,000
出資金	1,000	利益剰余金	3,632,463
会員権	16,190	利益準備金	54,300
関係会社出資金	193,256	その他利益剰余金	3,578,163
関係会社長期貸付金	190,687	繰越利益剰余金	3,578,163
敷金・保証金	830,241	【評価・換算差額等】	【 302,306 】
長期前払費用	392	その他有価証券評価差額金	302,306
繰延税金資産	84,519	<b>純資産合計</b>	<b>4,414,769</b>
投資損失引当金	△ 193,256		
<b>資産合計</b>	<b>16,798,252</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,798,252</b>

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年12月31日)

(単位：千円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
ハードウェア売上高	5,380,941	
アウトソース売上高	16,775,540	
システム・サービス売上高	2,125,804	
メンテナンス売上高	3,843,638	28,125,924
【 売 上 原 価 】		25,115,850
売 上 総 利 益		3,010,074
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		2,727,537
営 業 利 益		282,536
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	2,883	
受 取 配 当 金	8,793	
助 成 金 収 入	31,875	
雑 収 入	45,439	
為 替 差 益	19,590	108,581
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	34,529	
社 債 利 息	10,149	
社 債 発 行 費	11,074	
雑 損 失	15,052	70,805
経 常 利 益		320,312
【 特 別 損 失 】		
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	85,993	85,993
税 引 前 当 期 純 利 益		234,318
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	245,864	
法 人 税 等 調 整 額	△ 124,827	121,037
当 期 純 利 益		113,281

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。